

# 2016年～2024年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科  
社会医学講座  
研究責任者： 井原 一成

皆様の試料・情報を利用させていただき、下記の研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない方は、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 コロナ前・中・後における社会的孤立の状況の変容とその要因

## 研究の目的

近年、社会的孤立という概念に対して注目が集まっており、健康指標にも様々な悪影響をもたらすことが指摘されています。新型コロナウイルス蔓延に対する Stay-at-home 政策により、高齢者の社会的孤立が進んだといわれていますが、その中でも特に孤立の状況が大きく悪化した人々と、そうでない人々がいることが想定されます。さらには、社会が平常に復したのちに、孤立の状況が回復した人々と、回復しないままの人々がいることも想定されます。この研究では、コロナ禍において孤立したのは特にどのような特性を持つ人々なのか、また、コロナ禍が終わっても孤立したままなのはどのような特性をもつ人々なのかということを、健康状態の変化と併せて明らかにします。

研究実施期間 実施許可日 ～ 令和 10 年 3 月 31 日

対象となる方 2016 年～2024 年の岩木プロジェクト健診に参加された方

## 利用させていただきたい試料・情報について

2016 年-2024 年岩木プロジェクト健診から収集した以下のデータを研究対象としています（項目名は 2024 年準拠）。

- DX システムデータ出力データ（個人記録表）
- 健康調査票
- 認知機能検査（あたまの健康チェック）
- 血液所見
- お薬手帳記録

なお、本研究で利用する情報は、先行研究で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意

義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

#### 外部への試料・情報の提供

本研究において、外部への資料・情報の提供はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。研究への利用に同意いただけない場合には、「情報利用提供停止願い」をご提出ください。参加者／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、その方の試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

|            |                                                                                                                                 |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本件連絡先      | 社会医学講座 八木橋 孝伎<br>電話番号：0172-39-5041                                                                                              |
| 情報利用停止願送付先 | 弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター<br>医療データ解析学講座<br>教授 玉田 嘉紀<br>住所 〒036-8562 弘前市在府町 5<br>電話：0172-39-5037(代表)<br>FAX：0172-39-5205 |